

第1号議案 2016年度事業・活動報告

< 活動のまとめ >

1. 古着類の回収とアル・カイル事業グループへの送り出し

1. 古着・毛布などの回収

回収期間	回収量	送付人数
①2016年9月1日～12月31日	36,961.4 kg	7,436人
②2017年1月1日～4月30日	26,008.4 kg	5,828人
③2017年5月1日～8月31日	38,748.5 kg	7,471人
合計	101,718.3 kg	20,735人

2016年度の回収は、計画を130トンとしました。センターでの回収受付期間は年に3回も受けました。回収実績は101.7トン（千葉センター88.6トン、東葛センター13.1トン）で計画に届きませんでした。

特に2回目（上の表②）の回収量が少なかったため、3回目（上の表③）の回収では3年前に回収に参加した方たちにも案内を送付して呼びかけました。また、地域の夏祭り会場でも、主催者の協力を得て回収を行ない約1トン（144人参加）集まりました。しかし、目標の80%弱しか集めることができませんでした。

ホームページを見て参加する方の人数と回収量は前年比の70%に減りました。ホームページは作り直す準備を進めましたが、年度内には実行できませんでした。

会員・支援メンバーの方の送付は回収量の9.5%（延べ1,216人）になりました。ご協力ありがとうございました。

（協力団体の方々からの回収は、「6. 多様な団体との連携」と資料をご覧ください）

2. AKBG への古着送り出し

回収量は計画を下回りましたが、前年度繰り越し分の在庫があり、計画した4回の送り出しを実行することができました。パキスタンでの価格の低い

	JFSA コンテナ積込み	AKBG 受渡し・倉庫着	送り出し量
第55回	2017年1月18日	2017年3月15日	24,009 kg
第56回	2017年4月5日	2017年5月21日	24,118 kg
第57回	2017年6月28日	2017年8月8日	24,383 kg
第58回	2017年9月27日	2017年11月2日	24,508kg
合計			97,018kg

い女性物（ブラウス・カットソー等）の輸出は、毎回、コンテナに積む量を制限してきましたが、今年度は輸出量を確保するために前年度より量が増えることになりました。千葉・東葛両センターで選別作業をすすめることにより、約3ヶ月で1回の送り出しができました。

パキスタンでの卸売価格の低い品目についての販路・活用については、2017年4月の事務局派遣の際にAKBGカユーム氏とともに2度目となるタイの古着市場調査を行ないました。カユーム氏と同郷の古着卸業者の案内でバンコク市内やカンボジア国境のマーケットを訪問しました。

2. AKBGとの事業連帯の推進とアル・カイルアカデミーの自立支援

1) 事務局の派遣

事務局派遣を以下の目的で実施しました。

①AKBG 事業活動の推進

a)古着販売事業

- ・ JFSA、グリーンコープコンテナ荷下ろし、及び AKBG 価格交渉への立会い
- ・ 古着マーケットの調査
- ・ 韓国ハンサリム生協連合による古着輸出に関する確認

b)縫製工房の事業の推進。

- ・ 協力団体によるオーダー品に関する業務

c)洪水被災地ダドゥの進捗状況確認

②アル・カイルアカデミー教育事業の視察

a)本校・分校について・・・本校、分校についてそれぞれの現況の確認

- ・ インタビュー(生徒、先生、家族)、労働現場の訪問、家庭訪問など

b)青空学校の今後について確認

③危機管理についての確認

④JFSA 総会企画・招日企画の相談

派遣期間	
10月31日～11月10日	入江賢治・田辺紀子
11月30日～12月12日	田辺航太郎
3月6日～17日	桑山奈々 同行者：グリーンコープ共同体から5名（3月6日～10日）
3月6日～18日	依知川守
4月13日～22日	田辺航太郎
5月8日～18日	田辺紀子・大橋紀子
5月25日～31日	田辺航太郎
7月31日～8月7日	入江賢治
8月7日～19日	依知川守 同行者：大地を守る会職員豊島氏

2)古着販売事業

JFSA からは4本のコンテナを輸出しました。グリーンコープ・ファイバーリサイクル事業部（GC）からは3本のコンテナが輸出されました。コンテナはすべて卸業者ワリー氏・ニアーズ氏に販売されました。今年度のJFSAコンテナの卸価格平均（第55～57回）は104ルピー（RS）で前年度（105RS）を下回りました。卸業者との価格交渉では、古着マーケットが低調（アフガン難民帰還政策のために、アフガニスタン・パキスタンの国境が引き締められ、アフガニスタンからの買い付け業者が減っている。中国からの古着や安価な新品衣類の輸入量が増え古着相場が下落している等）という主張があり、卸価格を引き上げることはできませんでした。輸出した古着等の内、パキスタンで単価の高いアイテムが減少したことと、単価の低い女性物等の量が増加したことも影響しました。

コンテナの到着に合わせて事務局を派遣しました。卸売価格交渉に立ち会い、販売利益が増えるように協力しました。また、コンテナの荷下ろしに参加して、古着等の受渡しの確認を行ないました。

8月の事務局派遣では、パキスタンでの古着ビジネスを理解し今後の事業展開について検討するために、カユーム氏とともに卸売業者や小売店を訪問し、マーケット調査を行ないました。

JFSA 第55回～58回の輸出総量は97,018KGでした。第57回までの純利益合計は4,253,544ルピー（4,398,202円）でした。GC 第13回～15回の輸出総量は75,198KGでした。第13回、第14回の純利益合計は1,667,307ルピー（1,716,506円）でした。

【資料】 JFSA第55回、第56回、第57回、第58回AKBG古着販売事業収支(単位:円)

	第55回 (2017年3月到着)	第56回 (2017年5月到着)	第57回 (2017年8月到着)	第58回 (2017年10月到着)	合計 収入合計以下は57回 まで
古着等送出し量	24,009kg	24,118kg	24,383kg	24,508kg	97,018kg
収入合計	2,761,035ルピー	2,460,036ルピー	2,340,768ルピー		7,561,839ルピー
①卸販売	2,761,035ルピー	2,460,036ルピー	2,340,768ルピー		
卸売価格	115ルピー/kg	102ルピー/kg	96ルピー/kg		
*レート	1ルピー:1.09円	1ルピー:0.94円	1ルピー:0.95円		
経費合計	1,252,073ルピー	1,256,594ルピー	1,217,238ルピー		3,725,905ルピー
①日本サイド	807,952ルピー	865,566ルピー	865,386ルピー		2,538,904ルピー
②パキスタンサイド	444,121ルピー	391,028ルピー	351,852ルピー		1,187,001ルピー
*1kg当たり経費	52ルピー/kg	52ルピー/kg	50ルピー/kg		
純利益	1,508,962ルピー	1,203,442ルピー	1,123,530ルピー		3,835,934ルピー
純利益(円建て)	1,644,769円	1,131,235円	1,067,354円		3,843,358円
				前年度純利益	5,416,243ルピー

【資料】 グリーンコープ第13回、第14回、第15回AKBG古着販売事業収支(単位:円)

	第13回 (2017年3月到着)	第14回 (2017年8月到着)	第15回 (2017年11月到着)	合計 収入合計以下は14回 まで
古着等送出し量	24,717kg	24,928kg	25,553kg	75,198kg
収入合計	2,100,945ルピー	2,293,376ルピー		4,394,321ルピー
①卸販売	2,100,945ルピー	2,293,376ルピー		
卸売価格	85ルピー/kg	92ルピー/kg		
*レート	1ルピー:1.09円	1ルピー:0.95円		
経費合計	981,243ルピー	1,119,354ルピー		2,100,597ルピー
①日本サイド	662,905ルピー	809,154ルピー		1,472,059ルピー
②パキスタンサイド	318,338ルピー	310,200ルピー		628,538ルピー
*1kg当たり経費	40ルピー/kg	45円/kg		
純利益	1,119,702ルピー	1,174,022ルピー		2,293,724ルピー
純利益(円建て)	1,220,475円	1,115,321円		2,335,796円
			前年度純利益	2,602,041ルピー

3)新しい事業の取り組みの検討

JFSAに届いた古着をAKBGがより高く販売できるために、タイの古着マーケットで調査を行ないました。古着以外の雑貨をパキスタンへ輸出できないか、事務局派遣の際に現地調査を行ないました。

4)AKBG 海外古着輸出

パキスタンの古着卸業者や日本の小売業者と日ごろからコミュニケーションを取ることに努め、需要を把握して輸入することにより、売り上げ増につながりました。パキスタン物産については、日本の小売業者と話し合っパキスタン民族衣装の製作、販売を行ないましたが、現状小規模のため来季以降の課題となりました。

5)縫製工房

事務局派遣時に縫製工房でミーティングをしました。また、アジュラク染めで有名なハラーという街に工房のスタッフといっしょに行き、手染めプリントの工程を見学しました。

縫製工房には以下の製品をオーダーし輸入して販売しました。

- ・ガーゼストールとロールペーパーケース (生活クラブ生協虹の街 *40周年記念取り組み品)
※ロールペーパーケースを2016年10月と12月に納品
- ・名刺入れ (生活クラブ生協虹の街 *40周年記念品) ※2017年1月に納品
- ・アジュラク生地のエプロンとアームカバーのセット (ファイバーリサイクル四街道20周年記念品)
※2017年4月納品

このほか、縫製工房設立のときに直接に指導をいただいた縫製専門家の方から、地域のよさこいチームの衣装作成のオーダーを受けました。

地球市民交流基金アースアンと話し合いをすすめ、アースアンで販売する製品を開発しました。

3. 国内事業

1) センター業務

① 千葉センター

センター内の全体的な配置の見直しと在庫保管スペースの増設を実施し、効率化につながりました。アルバイトを増員したことで、選別やプレス用の古着等がたまってしまうことが減り、作業のながれがスムーズになりました。

選別協力団体（6団体）が選別作業やコンテナ積み込み、イベントボランティアに参加しました。新たな選別協力団体を増やすことはできませんでした。

② 東葛センター

回収量の減少により、東葛センターからの送り出しは2017年度中には困難であると判断したため、計画の立て直しが必要になりました。有志による木材の無料提供を受けて、保管用のスペースを作ることができたため、在庫管理がスムーズに行えるようになりました。

2) ショップ販売

① 千葉ショップ

年間7回セールを行ないました。昨年度同様、ハガキ・新聞折り込みチラシ・ポスティングチラシで広報を行ないました。新しいエリアへのポスティング枚数を増やしたことで、新しい方の来店に繋がりましたが、売り上げ目標は達成できませんでした。また、売り場の模様替えを行ない、男性物売り場を拡大し、好評でした。紡ぎ債で集まった寄付金を使つての改装には取りかかれませんでした。倉庫のオーナーの協力があり、改装のための資材を提供していただくことになりました。

② 柏店(古着ショップ^{カブレ}kapre)

店内商品の入れ替えや陳列を来客に合うよう努めたことにより、売上では昨年度対比150%を達成しました。事務局、アルバイトともに人手を確保できず、インターネットでの販売や情宣に力を入れて取り組むことができませんでした。

3) 街商販売(フリーマーケット、その他)

千葉銀座通り、池袋西口公園、赤羽公園、津田沼公園、大井競馬場などのフリーマーケットを中心に出店しました。雨天や、予算に見合う開催会場のない日が多く、出店回数が目標に届かず、予算を達成することができませんでした。

活動のアピールを目的として稲浜ショップやベイタウン幕張朝市、アースデイちば、その他会場に参加しました。ベイタウン幕張は夏祭りでの「古着回収企画」へ、津田沼公園フリマはモリシア津田沼での「和衣マルシェちば」開催へそれぞれ繋がりました。

4) 販売協力団体

- ・常設販売：NPOクラブ「おおなみこなみ」、自然食品店「アースマーケット」、「うまいもん屋くらうど」、洋服お直しの店「中川クロス」
- ・その他の販売協力：「あみあみ（生活クラブ虹の街組合員の編み物サークル）」（イベントでの販売）、着物販売1名の協力がありました。

5) 市民活動と連動した企画

①協力団体主催の企画、市民活動と連動した様々な企画へ参加しました（別表参照）。FRうらやすは各地の市民祭り参加、使いまわし工房は松戸市みらいフェスタ参加などに協力いただきました。生活クラブ風の村とんぼ舎佐倉の直売会へ定期的に参加しました。

- ②支援バザールを JR 船橋駅北口デッキにて、年 2 回（11 月と 4 月）開催しました。学生を含む大勢のボランティアの参加を得ました。
- ③チャリティーバザールを千葉センターで 2 回（12 月と 6 月）開催しました。東葛センターでは名称を「冬のバザール」「初夏のバザール」に変更し 2 回（12 月と 6 月）開催、リメイク品の展示会や写真展企画、パキスタン文化の紹介などを行ないました。
- ④「着物市」 実行委員会企画として 2 月に千葉(生活クラブ真砂本部スペース渚)、3 月に取手会場でリサイクル着物市を開催しました。「はぎれくらぶ麻の葉」などの協力により、定期的な着物販売企画「和衣マルシェちば」を 12 月から毎月 1 回開催しました。イベントを通して新たに着物のリメイクなどに取り組む人々と出会うことが出来ました。また 7 月にはモリシア津田沼のイベントスペースでも開催しました。
- ⑤アースデイちば、ぽっぽの市実行委員会へ参加し、当日は古着等の販売、回収を行ないました。新松戸中央公園チャリティーフリマは日程調整がつかず 2 回とも参加出来ませんでした。

4. 広報活動と会員の参加

1) 会員数の増減

	会員数（うち新規入会数）	前年比	口数	前年比	計画口数
会員（個人）	150 名（14 名）	-4	159 口	-15	180 口
支援メンバー（個人）	1,179 名（146 名）	-43	1,335 口	-54	1,450 口
会員（団体）	11 団体（1）	+1	11 口	+1	11 口
支援メンバー（団体）	7 団体（0）	±0	11 口	+4	10 口

（2017 年 9 月末日）

古着の回収に参加した方には、回収の案内といっしょに入会の呼びかけを郵送しました。

継続率は 85.0%（2015 年度 84.7%）で昨年度に比べ微増しましたが、新規入会者が減り計画が達成できませんでした。活動報告会、企画出店などでの呼びかけが不十分でした。

2) 広報活動

JFSA の会報を 3 回発行し、会員支援メンバーに送り、活動報告会やイベントなどでも配布しました。理事・ボランティアの方に意見を聞き、写真の使い方や内容など紙面に反映させました。44 号会報には、別紙としてアル・カイルアカデミーの紹介と JFSA の歴史を写真付きで紹介しました。

会報	部数
42 号（2016.12）	2500
43 号（2017.04）	2300
44 号（2017.09）	2500

古着を届けていただいた方に次回の案内を送っていますが、古着などの回収を広く呼び掛けるため、5 月からの回収案内（16 年度第 3 回）は、千葉市・流山市・柏市在住で 3 年前の同時期に送っていただいた方にもリーフレットと回収案内を送付しました。

会報や回収案内の発送費用は寄せられた書き損じはがきや未使用切手で全て賄うことができました。ホームページの変更は、回収期間及び品目の変更、イベントページ・求人募集ページの更新、ブログの更新に留まりアクセス数は下がっています。ホームページのリニューアルについては、準備を進めましたが、年度内に実行できませんでした。

リーフレットを新たに作成し、活動説明会やフリマ、イベント、ショップなどで配布しました。5 月からの回収案内（16 年度第 3 回）と一緒に、会員・支援メンバーに送りました。（印刷枚数：9700）

活動報告会の際に、事務局がパキスタンで撮影した動画を活用し好評でした。

3) サポーターグッズ

「子どもたちの暮らしや学校の様子を伝える」「作成は先生や生徒が行なう」というサポーターグッズを持つ意味や役割をタスニームさん・ムザヒル校長と再度確認をしました。16 年度のサポーターグッズ（パンカー：うちわ型の飾り）は縫製工房リーダーのサルマさんがデザインし、作成は生徒や先生中心

で行ないました。1341 個受領しました。千葉ショップの中に活動紹介するスペースを設け、展示と販売を行ないました。

4) ボランティアの参加

コンテナの送り出し、フリーマーケットやイベント、チャリティーバザール、回収案内や会報の発送、切手やハガキの整理、地域でのチラシ配布ではボランティアの参加がありました。和服類の整理は、専門知識のある方や和服好きの方が行ないました。月に1度の「和衣マルシェちば」やイベント、着物市では販売の場でも協力していただきました。市川市夏休み体験ボランティアで学生を3名受け入れました。

5) 活動報告会・交流会・企画出展など

活動報告会や交流会に参加しました。さまざまな企画に出展しました。

2016 年

10 月

2 日(土)しんけみ広場(千葉市花見川区)

7 日(金)着物市(JFSA 東葛センター) 笠間工芸の丘 2016 秋の感謝フェア(~10 日)

8 日(土)パルシステム千葉 東金センターまつり

14 日(金)とんぼ舎直売会

19 日(水)都小学校生活科授業 町探検受入れ

22 日(土)浦安市民まつり(~23 日) 生活クラブ茨城・秋のわくわくフリーマーケット

23 日(日)行徳まつり パルシステム千葉生協まつり

28 日(金)FR うらやす定期総会

11 月

3 日(木)いちかわ市民まつり

5 日(土)みそらの教会バザー(四街道市)

6 日(日)ぼっぼの市(千葉市稲毛区 稲岸公園)

12 日(土)生活クラブ虹の街 40 周年記念企画「虹色フェスタ」

13 日(日)はなみずき公園(松戸市)

14 日(月)生活クラブ茨城 県央ブロック仕分け&交流会

18 日(金)JFSA 定期総会

12 月

3 日(土)NPO まつり(代々木公園)

4 日(日)JFSA チャリティーバザール(千葉センター)

10 日(土)大古着市 ~11 日(船橋駅北口デッキ)

16 日(金)とんぼ舎直売会 JFSA 冬のバザール(東葛センター)

2017 年

2 月

22 日(水)生活クラブ茨城 牛久センター仕分け&交流会

27 日(月)生活クラブ虹の街 千葉グループ柏エリア懇談会

3 月

3 日(金)柏たなか商店会 吊るし雛企画

5 日(日)着物市(取手会場) 大地を守る会オーガニックフェスタ

6 日(月)生活クラブ茨城 水戸センター仕分け&交流会

11 日(土)豊島区社会貢献活動見本市

25 日(土)みらいフェスタ 2017(松戸市)

4 月

9 日(日)ぼっぼの市(千葉市稲毛区 稲岸公園)

15 日(土)FR 四街道定期総会

22 日(土)大古着市 ~23 日(船橋駅北口デッキ)

5 月

22 日(日)アースデイちば(千葉市稲毛区)

24 日(水)ワーカーズコレクティブ千葉県連合会 定期総会

27 日(土)あらかわ再発見

6 月

1 日(木)ユニバーサル就労千葉定期総会

- 2日(金)アーシアン定期総会
- 4日(日)JFSA 初夏のバザール(東葛センター)
企業組合ワーカーズ・結 定期総会
- 10日(土)大地を守る会 CSR 総会
NPO クラブ定期総会
- 11日(日)JFSA チャリティーバザール(千葉センター)
- 22日(木)生活クラブ虹の街総代会
- 7月
- 1日(土)生活クラブ茨城取手センター 仕分け&交流会
- 3日(月)生活クラブ茨城水戸センター 仕分け&交流会
- 4日(火)生活クラブ茨城牛久センター 仕分け&交流会
- 5日(水)浦安市市民活動センターでの浴衣販売
- 15日(土)夕涼み会(柏たなか商店会)
- 18日(火)生活クラブ虹の街訪問 大地を守る会訪問
- 19日(水)生活クラブ埼玉訪問
- 20日(木)生活クラブ茨城訪問
- 21日(金)生活クラブ東京訪問 エコメッセ訪問
- 22日(土)アーシアン訪問 パルシステム千葉訪問
- 23日(日)JFSA 会員とムザヒル校長の交流会
- 29日(土)船橋市民まつり
- 31日(月)市川市夏休み体験ボランティア
- 8月
- 6日(日)大網白里平和コンサート
- 8日(火)生活クラブ虹の街千葉ブロック 古着選別体験
生活クラブ茨城取手センター 仕分け&交流会
- 10日(木)パキスタン・ジャパンフレンドシップフェスティバル(上野恩賜公園)(~14日)
- 20日(日)生活クラブ埼玉 地球のためにできること~生活クラブのエコフェス~
- 25日(金)とんぼ舎直売会
- 26日(土)ペイタウン夏祭り(千葉市美浜区)
- 9月
- 1日(金)社福グリーンコープ 事務局来訪
- 11日(月)桜町高校定時制での授業
- 13日(水)ハンザリム生協 新任理事来訪
- 15日(金)パルシステム千葉東金センター つどい(古着選別&交流会)

5. 研修

下記の日程で研修を行ないました。

- ・2016年11月26日「これからだ一開花を待つパキスタンの潜在力」
(財)日本・パキスタン協会主催 (事務局1名)
- ・2017年4月26日 上半期の振り返り(事務局研修 事務局6名)
年間研修プログラムの作成はできませんでした。他団体と協力した公開学習会の検討はできませんでした。

6. 多様な団体との連携

1)地球市民交流基金アーシアン

理事の方たちと招日交流を行ないました。アル・カイルアカデミーの職業訓練所の運営資金、給食費の支援が行なわれました。AKBG 縫製工房製品の開発を協力して行ない、試験販売に取り組んでいただきました。

2)NPOクラブ

理事会に出席しました。古着の回収やイベントへの参加を呼びかけました。NPOクラブが運営する多世代地域交流拠点“おおなみこなみ”で古着の委託販売を行ないました。

3)ワーカーズコレクティブ千葉県連合会

定期総会に参加しました。(企)ワーカーズ・結の定期総会で活動報告を行ないました。

4)FR うらやす、FR 四街道、FR 佐倉

FR うらやす・・・総会で活動報告を行ないました。活動支援金のカンパ、着物市やイベント出店、アル・カイルアカデミーコンピュータークラスの運営資金支援に協力していただきました。学習会に講師として招かれました。

FR 四街道・・・総会で活動報告を行ないました。活動支援金のカンパ、AKBG 縫製工房へのカンパ、イベント出店への協力、古着送り出しコンテナ積み込みに協力していただきました。縫製工房に 20 周年記念品のオーダーをいただきました。

FR 佐倉・・・活動支援金のカンパ、AKBG 縫製工房へのカンパに協力していただきました。

5)団体会員、団体支援メンバー

回収協力団体では回収の広報を定期的にしていただき、メンバーの方たちの回収参加、イベントなどの出展、招日交流などに協力をいただきました。

- ① 大地を守る会 (回収協力団体)・・・招日交流、古着送り出しコンテナ積み込み参加、事務局の方のパキスタン訪問、古着選別体験企画 (活動報告と選別体験) 開催、イベント出展とイベント会場での古着回収、配送車による古着回収 (年間 3 回) に協力していただきました。
- ② パルシステム千葉 (回収協力団体)・・・イベント出展、回収&選別体験企画開催、センター祭り出展、古着送り出しコンテナ積み込み参加、招日交流に協力していただきました。
- ③ 生活クラブ東京 (回収協力団体)・・・招日交流、配達便回収 (ベイセンター、年間 2 回) に協力していただきました。広報誌に記事を掲載して活動を紹介していただきました。
- ④ 生活クラブ虹の街 (回収協力団体)・・・招日交流、夏休み古着選別体験企画開催、配達便による古着回収 (年間 3 回)、デポー (生活クラブの店舗) での回収 (年間 6 回) と古着販売に協力していただきました。AKBG 縫製工房に 40 周年記念品のオーダーをいただきました。チャリティーバザールに出店していただきました。
- ⑤ ポラン広場 (回収協力団体)・・・回収に協力していただきました。
- ⑥ 社会福祉法人生活クラブ風の村・・・事業所での地域イベントに継続して出店しました。
- ⑦ はぎれくらぶ麻の葉・・・和服整理と販売のボランティア、和服販売企画に協力していただきました。
- ⑧ 生活クラブ茨城 (回収協力団体)・・・配達便による古着回収 (年間 3 回) とその後の仕分け&交流会開催、古着送り出しコンテナ積み込み参加、学習会の開催、招日交流、イベント出展に協力していただきました。
- ⑨ グリーンコープ・・・役員と理事の方がパキスタンを訪問しました。
- ⑩ パルシステム茨城 (回収協力団体)・・・招日交流、学習会&古着選別体験企画開催に協力していただきました。
- ⑪ 生活クラブ埼玉 (回収協力団体)・・・招日交流、イベント出展、見学会に協力していただきました。

6)他の NPO/NGO との交流

児童労働反対世界デーキャンペーンに参加しました。

(一社) 地域資源発掘 ASAA の事務局 (元 FRN 事務局) から、「古着回収はどうあるべきか？」をテーマにした調査活動のためのアンケート依頼があり協力しました。

(特非) 環境街づくり NPO エコメッセを、招日したムザヒル氏とともに訪問し活動について伺いました。

7)企業との協力関係

QVC ジャパン社員の社会貢献活動として JFSA へ寄付する古着の回収に取り組みがありました。チャリティーバザール開催時には地域の事業者から駐車場やポスター掲示など協力がありました。

8)APF(互恵のためのアジア民衆基金)との連携

APF 総会 (於インドネシア・スラバヤ) に AKBG とともに参加しました。APF 会員の韓国の生協ハンサリム連合は、アル・カイルアカデミー支援のため、AKBG と連帯した古着販売事業の試験的な取り組みを開始し、古着回収と現地への輸出を行ないました。

9) 社会福祉法人グリーンコープ

事務局がグリーンコープの役員、職員とともに、第13回コンテナの到着に合わせて、JFSA 事務局派遣に同行しました。

事務局2名が千葉センターに来訪し、AKBG への古着輸出事業、古着回収・販売事業等について協議しました。

2017年10月に行われるファイバーリサイクル運動報告会に向けて、縫製工房製作のエプロンのオーダーをいただきました。

10) ユニバーサル就労ネットワークちば

定期総会に出席しました。

7. アル・カイルアカデミーの教育・連帯事業に関わるパキスタンの人々と交流

2016年11月16日から11月21日までアル・カイルアカデミー・ユースウィング代表のムハマド・サード・シークさん、2017年7月17日から24日までアル・カイルアカデミー校長ムザヒル氏を招日しました。イベント参加、協力団体の訪問、会員や理事、選別協力団体との交流を行ないました。

協力団体からは、(株)大地を守る会の事務局1人、グリーンコープ共同体から5人が事務局派遣に同行しました。

8. 国内事業、海外事業の危機管理

1) 国内事業

東葛センター担当事務局が防火管理責任者講習を受講しました。東葛センターに自動火災報知器等の防火設備を設置しました。2017年6月の千葉センターチャリティーバザールの企画として、消防団の方の協力で救急救命体験コーナーを設けました。

国内事業活動のリスクマネジメントマニュアルは新規作成には至りませんでした。

2) 海外事業

パキスタン派遣、その他の海外派遣におけるリスクマネジメントマニュアルに沿った危機管理を行ないました。またリスクマネジメントマニュアルの再検討を行ないましたが、AKBG 事務局・JFSA 事務局による新しいマニュアルの確認、また双方を結んだシミュレーションは実施できませんでした。